

## 2017 年度実績からみたキャリア開発事業の動向

中沢賢治  
キャリア開発事業担当幹事

キャリア開発事業の本格実施がスタートした 2017 年度は、出張講座、カウンセリングとともに多くの実績が上がり、本事業が定着しつつあると思われる。大学のゼミや学生団体のイベントなどへの参加も含め、事業活動の幅を広げることができた。

活動内容	活動 状況		支援対象
	件数	参加者数	
1. 出張講座	19	511	上智大学、早稲田大学他
2. 能力開発・向上研修	5	65	国際学生会議、法政大学他
3. カウンセリング	20	27	国際機関志望者他（学生 15 名、社会人 12 名）
4. 国際機関職員支援	2	2	地域開発機関職員他
5. 学生団体活動支援	1	-	NPO 法人 MIS
6. 他の組織との連携	7	-	産業技術大学院、FASID 他

学生団体との積極的な交流を図ったことが本事業の特色の一つである。国際協力活動を行っている 2 団体から助成の申請があり、審査の結果「MIS」を助成団体に選定し、2017 年 12 月に 10 万円を支給した。MIS は 2011 年に東京大学の学生を中心に設立された NPO 団体で、カンボジア・ベトナム・フィリピン・ミャンマー・インドネシア・インド・マレーシア等 7 か国と日本の学生が、国別に協力プロジェクトを実施する他、日本と ASEAN の国で協力活動を実施している。本件助成対象の団体については藤村講師がモニタリングを担当し、プロジェクト発表会などへの出席を通じて指導を行うとともに、SRID と MIS の協調を深めるべく活動している。

東京大学本郷キャンパスで開催された国際機関银杏会の公開ワークショップ（2017 年



10 月) にはキャリア開発塾からも 5 人の講師が参加した。参加した受講者の一人がその後 SRID 会員となった。将来の仕事として、国際開発協力分野を志望する学生の数は増えているが、どのような準備をしたら良いのか、誰に相談したら良いのかわからないと感じている人たちは多い。

SRID キャリア開発塾で講師たちのカウンセリングを受けた若者たちの声を紹介したい。

- 採用インタビュー直前にカウンセリングを受けた。講師の経験に基づくアドバイスを参考にして自分の考えを整理でき、実際の面接でも踏み込んだ質問をすることができた。その後もフォローアップでメールをやり取りし、迷っている点が明らかになった。組織に入ること自体が目的ではなく、今後のキャリア構築に必要な経験を積み重ねられる機関からのオファーを選ぶことにした。
- 一次面接通過直後に助言を求めた。事前の電話セッションでは、本面接に臨む際の注意点などアドバイスをもらった。かつて挑戦した国連の採用プロセスとは違う側面もあることを教わり参考になった。その後参加した SRID の懇談会でも、志望先の関係者に紹介していただき、感謝している。
- 国際機関の YPP に応募するにあたり、CV やエッセイを改善するための詳細なアドバイスをもらい、自信の持てる応募書類に仕上げることができた。
- 鍛えるべき能力、CV でのアピールの仕方など、とても参考になった。用意した英文 CV の校閲も示唆に富み、経験者ならではのアドバイスに説得力があった。
- オファーをもらってからも、どうすべきか迷っていたが、カウンセリングを受けてチャレンジする決心がついた。日本にいと、国際機関で働いた経験者から直接会って話を聞ける機会が無かったのでとても役に立った。
- カウンセリングを受けた後で JP0 の書類選考を突破した。ポイントを押さえたカバーレター及び CV の書き方を教わったことが特に役に立った。大学院のキャリアセンターで習った書き方とは全く違うアドバイスだった。国際機関を志さず知人たちにも紹介したい。
- 開発機関を目指すためのキャリアガイダンスや説明会は多くあるが、SRID キャリア開発塾のような個別アドバイスと丁寧な指導を受ける機会は今までなかった。これからも開発業界に貢献したい若い専門家達にアドバイスして欲しい。

東京農工大キャンパス(2018年1月)で行われた国際機関における実務体験についての講義風景(2018年1月)を紹介したい。その他にも上智大学、早稲田大学、法政大学、東京大学、東洋英和女学院大学院などとの連携により出張講座を実施した。



2018年度は、本事業と SRID の他の活動との連携をさらに強めていく方針である。具体的にはキャリア開発塾講師による SRID ジャーナル、SRID ニュースレターへの寄稿、SRID 懇談会との連携(講師による講演)を図る。さらに、こうした活動について国連フォーラム、SNS などで周知を行い、本事業の対外的な認知度の向上を図っていきたいと考えている。